

令和7年度 千葉県における「いしかわしらうお千葉県海域」に係る資源管理協定の取組の効果の検証結果（中間）

（１）千葉県におけるイシカワシラウオの漁業実態

千葉県においてイシカワシラウオは、主に銚子・九十九里海域において船びき網漁業により漁獲される。一方、2001年以降は漁獲実績が無い状況が続いている。

（２）資源管理の目標及び目標達成のための具体的な取組

目標（千葉県資源管理方針に定める資源管理の方向性）

当面の間、資源の回復に努め、資源評価において評価指標等が更新された場合には、その結果を用いて本方向性を見直すこととする。

該当する資源管理協定

「いしかわしらうお千葉県海域」に係る資源管理協定（以下、協定という。）は、下表のとおりで、1漁協所属の約20名がイシカワシラウオを対象とした協定に参加しており、このうち本検証の対象となるのは、1協定となっている。

協定	備考
海匠	

本検証の対象協定

自主的取組

海匠漁協の船びき網漁業では、休漁日を設ける取組を行っている。資源管理の取組は当該協議会で協議決定の上、実践している。

漁業の種類	資源管理の取組	取組の内容	備考
船びき網漁業	休漁日の設定	飯岡漁港及び銚子漁港魚市場の両方が休業日は休漁日とする。	

協定に記載されている取組

（３）資源管理の取組状況

銚子・九十九里地区の主要漁協における船びき網漁業によるイシカワシラウオの漁獲量は、1995年に約2トンの漁獲を記録したが、ほとんどの年で漁獲がみられておらず、2001年の漁獲を最後に、現在まで漁獲がされていない（図）。そのため、協定参加者による検証（以下、自己点検という。）では、効果を検証することができないという結果となった。

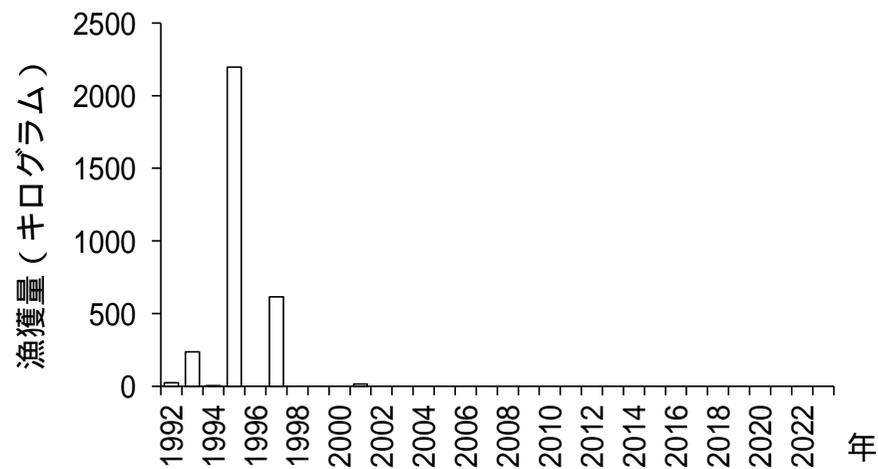


図 銚子・九十九里地区の主要漁協における船びき網漁業によるイシカワシラウオの漁獲量の経年変化

(4) 資源管理の効果を高めるための協定の改善・高度化の検討

イシカワシラウオについては、漁獲実績が無いため、正確に効果を検証することができなかった。そのため、海洋環境の変化や資源の動向に注視しながら、今後も引き続き資源の回復に努めていくことが重要と考えられる。